

増加する大腸の病気への理解を深めよう

2023年4月、緒方 晴彦 医師（前慶應義塾大学医学部内視鏡センター教授）が、山王病院・山王メディカルセンター等を運営する、医療法人財団 順和会の内視鏡センター長として着任いたしました。

21世紀に入り、お腹の病気は「大腸の時代」と言われています。これまでは胃や肝臓が病気の中心でしたが、ヘリコバクター・ピロリ菌ならびにC型肝炎ウィルスの発見で治療法も確立し、今では大腸がんのみならず多くの大腸の病気が注目されています。近年我が国における胃がんと大腸がんの発生率・死亡率が逆転したことがそれを象徴しています。日常診療において腹部・消化器系の病気を疑う頻度は非常に多く、本講座では、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満感などの症状に対してどのようなアプローチをし、診断・治療が行われているかをお話したいと思います。

また、増加の一途をたどるがんを含めた大腸腫瘍は腹部の自覚症状が殆ど無いことが多く、その早期診断のためにも便潜血反応はとても重要で、陽性になった場合は二次検査として大腸内視鏡検査が行われます。当施設においては、大腸内視鏡のスペシャリストが数多く在籍しており、痛みのない安全で確実な検査と治療が実施されています。

大腸の病気について、気になることがある方もそうで無い方も、ぜひ、お気軽にご参加ください。

日時：2023年5月25日(木) 場所：山王病院 本館3階 山王ホール
時間：14:00～15:00（開場13:30） 予約制・参加無料



緒方 晴彦（おがた・はるひこ）

専門：消化器内科（消化管疾患の内視鏡診断・治療）
順和会 内視鏡センター長
国際医療福祉大学 臨床医学研究センター教授

慶應義塾大学卒、医学博士

慶應義塾大学医学部特任教授、前慶應義塾大学医学部内視鏡センター教授、

元米国ハーバード大学医学部、Massachusetts General Hospital Postdoctoral Research Fellow

日本消化器内視鏡学会指導医・専門医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本消化管学会胃腸科指導医・

専門医、日本大腸肛門病学会大腸肛門病専門医、日本カプセル内視鏡学会指導医・認定医、

日本内科学会指導医・認定医、日本医師会認定産業医

◆プログラム(予定)◆

14:00 開会・ごあいさつ
(消化器内科 大久保副院長)

14:10 緒方医師 講義

14:50 質疑応答

15:00 閉会

※時間は多少前後することがあります。

上部・下部消化管疾患、特に炎症性腸疾患の診断と治療ならびに新規消化器内視鏡機器開発を専門としています。今後は人間ドックにおける内視鏡検査の効率的な運用と消化管の腫瘍性疾患に対する、より確実な早期診断の実現にも注力してまいります。

～ 参加方法 ～ 当日会場での聴講と後日Web視聴の2つの方法で行います。

■ 会場聴講：予約制（定員になり次第締め切ります。当日定員に満たない場合はご入場いただけます。）

以下の事項を記載の上、FAX またはHPのお申込フォームのいずれかでお申込みください。

FAX：03-3404-3652（さんのう健康講座事務局宛て）

■ Web聴講：HPのお申込フォームからお申込みください。お申込みいただいた方に、会場撮影した映像を後日メールにて配信いたします。

申込フォームにアクセス⇒



お名前（フリガナ）		ご住所	〒		
お電話		参加人数	名	健康講座参加歴	あり・初めて